

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
222BE09	経営戦略論	未来行動の選択	吉沢 昭人	2年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	ファイブ・フォーシーズ、SWOT、ライフサイクル、事業領域		
ディプロマポリシーとの対応	1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目	マーケティング論				
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	本講義は、経営戦略論における基本的な諸概念や理論の習得を第一の目的とします。経営戦略の諸概念や理論が理解できると、時々企業の行動理由が分かってくるようになります。同時に経営戦略の必要性、重要性も理解できるようになります。実際の企業行動に対する評価を可能とする能力の育成もまた本講義における目的の一つとなります。なお、経営組織論を学習した上で本講座を履修するとより理解が深まります。				
到達目標	①経営戦略論の基本概念を大まかに理解する。 ②経営戦略論における主要な理論を理解する。 ③経営戦略論上の諸概念、諸理論を基に、実在企業の行動理由を理解し、妥当性を判断できるようになる。				
講義内容	指定テキストに沿って授業を行います。各単元において、各々学ぶべき概念や理論がありますので、それらを中心に解説していきます。具体的には戦略の意味、ファイブ・フォーシーズ、3C分析、SWOT分析、基本戦略、製品ライフサイクル戦略、市場地位別戦略、事業ドメイン、PPMなどです。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	ガイダンス	本講座の学び方、学習に対する姿勢、要求事項など。		
	第2講	経営戦略論を学ぶ土台	新聞、経済雑誌の使い方。		
	第3講	経営戦略論を学ぶ意味、定義	なぜ経営戦略論を学ぶ必要があるのか。戦略論入門。		
	第4講	業界構造	ファイブ・フォーシーズ		
	第5講	環境	3C分析、SWOT		
	第6講	基本戦略	コスト・リーダーシップ戦略		
	第7講	ライフサイクル別戦略	製品ライフサイクル別の戦略定石		
	第8講	市場地位別戦略	リーダー、チャレンジャー、フォロワー、ニッチャー		
	第9講	リソース・ベスト・ビュー	リソース・ベスト・ビュー、コア・コンピタンス		
	第10講	事業領域	ドメイン		
	第11講	成長戦略	成長マトリックス、ブルーオーシャン		
	第12講	資源展開	PPM（ポートフォリオ・マトリックス）		
	第13講	戦略の社会的側面	企業の社会的責任		
	第14講	戦略と経営組織	組織構造、組織文化		
第15講	フィードバック	授業課題のフィードバックと全体の振り返り			
指導方法	講義は教科書に沿って行います。パワーポイントファイルを投影して説明を行います。資料配布は行いません。重要事項は各自ノートテイクを行ってください。なお、本講座はレポート形式でのやり取りが多くなります。レポートの書き方の基本を習得しておくことを強く勧めます。				
事前学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要です。1時間30分程度の学習時間を目安とします。				
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができます。1時間30分程度の学習時間が目安です。				
成績評価方法	本試験（レポート：70点）、平常点（授業時に課す複数回の課題）：30点の合計100点満点で行います。				
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	レポートについては、解説をClassroomに掲示する予定です。授業時に課す課題については、最終回にて解説を行い、フィードバックを行います。				
テキスト	嶋口光輝・内田和成・黒岩健一郎『1からの経営戦略論（第2版）』碩学舎（2016）				
参考文献					
実務家教員による授業		教員 経歴			
特記事項	マイクロソフトのワープロアプリケーションである「ワード」(Word) に習熟している方がのぞましい。				